

持続可能な社会に貢献する、安藤ハザマの価値創造戦略

世界を支え
共に歩む

Foundation

私たち安藤ハザマは、建設事業で社会を支える企業グループとして、世界各地で活動を展開しています。ものづくりを通じて持続可能な社会を実現するため、グループ一丸となって企業理念を実践し、新しい価値の創造に日々挑戦を続けています。

事業の基盤



売上高(連結)

3,520 億円

* 2021年3月期



営業利益(連結)

273 億円

(営業利益率(連結): 7.8%)

* 2021年3月期



ROE(連結)
(自己資本利益率)

12.2%

* 2021年3月期



拠点(作業所など含む)所在地

19 か国

* 2020年度



従業員数(連結)

3,857 人

(技術者数(個別): 2,664人)

* 2021年3月末時点



「安藤ハザマ協力会」会員会社数

1,381 社

* 2021年3月末時点

企業理念



1. ものづくりを通して、
社会の発展に寄与します。



2. 確かな技術と情熱で、
お客様満足を追求します。



3. 新たな価値を創造し、
豊かな未来を実現します。

SDGsへの賛同表明

「持続可能な社会の実現に向けた世界共通の目標」として、国連が2015年に定めたSDGs(持続可能な開発目標)に、世界の期待が高まり続けています。安藤ハザマはその理念に賛同し、さまざまなCSR活動を通して、SDGsの実現に向けて努力をしていきます。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

未来を見据え
革新を続ける

Purpose

安藤ハザマは、人々の生活環境の向上と、地球の未来に負の影響を及ぼさない持続可能性(サステナビリティ)とを両立した成長戦略を重視しています。この実現に向けて、長期ビジョン「安藤ハザマVISION2030」を策定し、新たな価値を創造するイノベーションへと挑戦を加速しています。

安藤ハザマVISION2030

わたしたち安藤ハザマグループは、 イノベーションの加速で新たな価値を創造します

事業を通じた、4つの「新たな価値」の創造

お客様価値の創造

イノベティブな技術とソリューションで、
お客様の満足と信頼獲得を実現します。

- 高付加価値化・高効率化に向けた提案強化とLC(ライフサイクル)サポート事業の強化
- 積極的な技術開発・デジタル化投資や創意工夫で建設生産システムの改革を実現(安全、高品質、高生産性、低コスト)



株主価値の創造

本業の更なる強化と戦略的な成長投資で、
安定収益確保と利益還元を実現します。

- 受注力・現場力・収益力による建設(本業)の更なる強化
- エネルギー関連事業を核とした収益基盤の多様化加速
- フロービジネスとストックビジネスのバランスの取れた事業ポートフォリオへの変革



環境価値の創造

豊かな地球を次世代に引き継ぐため、
脱炭素で低負荷な循環型社会の実現に貢献します。

- 再生可能エネルギー事業への参画
- 事業活動の脱炭素化(SBT、RE100の推進)
- お客様への環境価値提供



従業員価値の創造

安全で働きやすい労働環境の整備で、
従業員の幸福感・働きがいの充実を実現します。

- 働き方や成果に応じた処遇の実現
- 心と体の健康づくりとワークライフバランスの実現
- キャリア形成と多様な働き方の支援



事業を支える「2つの柱」の実現

事業を支える2つの柱

建設(本業)：受注力 × 現場力 × 収益力の更なる強化
新規/建設外：エネルギー関連事業を核とした収益源の確立

目標を見定め 多面的に取り組む

Process

「安藤ハザマVISION2030」の実現には、明確な指針が必要です。財務面は中期経営計画等の数値計画、非財務面はマテリアリティに基づき、目標の達成に向け着実に各種施策を推進しています。また、日々変化する経済・社会の潮流、ひいては社会課題へと常に目を向け、継続的にリスク・機会を各種施策へ反映しています。

現在の注力施策と2020年度の成果

安藤ハザマVISION2030の実現に向けた中期経営計画

[重点施策を展開する事業等]

1. 国内建設事業(受注力×現場力×収益力の強化)
2. 海外建設事業(成長市場への注力で再構築)
3. エネルギー関連事業
(再生可能エネルギー事業への取り組み)
4. ライフサイクルサポート事業(ストックビジネスの強化)
5. 不動産事業、インフラ運営事業(ストックビジネスへの参入)
6. 技術開発(オープンイノベーションの活用、差別化技術開発)
7. グループ会社、協力会社、従業員
(担い手確保、働き方改革、人財育成)

戦略と成果の詳細

中期経営計画の進捗
P.13 Strategic Focus

事業ごとの注力課題
P.29 事業概況

成長投資領域の成果
P.17 財務担当役員メッセージ
P.42 グループ会社紹介

財務・非財務統合経営を支えるCSR

マテリアリティ① 社会課題の解決と社会への価値創造

持続可能な社会の実現に向け、事業のさまざまな側面で新たな価値を創造し、社会と共栄する

CSR重要テーマ

社会やお客様の満足と信頼獲得
地域社会との調和

主なKPI

生産性向上(2025年度目標)
(2020年度比) **10%以上**
特許出願件数(2025年度目標) **75件/年**

関連SDGs



マテリアリティ② 地球環境の保護と調和

豊かな地球を次世代に託すため、脱炭素で低負荷な循環型社会を実現する

CSR重要テーマ

豊かな環境づくり

主なKPI

CO₂排出削減率(2030年度目標)
Scope1、Scope2の総排出削減率(2017年度比) **33%**
再生可能エネルギー電気利用割合
(2030年度) **80%**

関連SDGs



マテリアリティ③ サステナブル経営の推進と責任の徹底

サステナブルな経営の基盤として、公正で誠実な事業をサプライチェーン全体で実現する

CSR重要テーマ

公正で誠実な企業活動
安全で働きやすい労働環境
ステークホルダーとの
コミュニケーション

主なKPI

重大な労働災害 **0件**
コンプライアンス研修受講率 **100%**

関連SDGs



戦略と成果の詳細

協働と共創の指針
サステナビリティレポート2021
ステークホルダーエンゲージメント

ESG重視経営の実践
P.23 公正で誠実な企業活動に向けて
P.35 サステナビリティ戦略概況

社会を育む
インフラをつくる

Value Creation

強靱(レジリエント)な生活インフラの構築、快適で環境性能に優れた建物の建設、また後世に託すべき歴史的建造物の修復・復元など、私たちのものづくりは、社会に多様な価値を生み出しています。そして安藤ハザマは、継続的な企業活動の大前提として、地域社会との良好な関係構築に全社を挙げて取り組んでいます。

社会へのインパクトと価値創造



1日あたりの平均就労人数

11,152人

(国内)
* 2020年度



作業所閉所状況(4週6閉所以上)

87%

(国内)
* 2020年度
閉所: 土日祝日等の現場の休工日



現場見学実施数

100回以上

* 2019年度
主に地元の方々や小中高生を対象
2020年度以降は、開催制限中



「シンズリ道路プロジェクト」
整備道路総延長

約 **160** km



施工中の山岳トンネル工事

21本

トンネル延長 34,240m
* 2021年3月末時点



「津軽ダム」総貯水容量

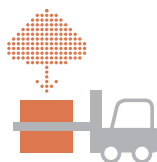
1億4,090万m³



CO₂排出削減量(累計)

6.8万t-CO₂

* 2017年度の排出量を基準年度として、
2020年度までの削減量の累計



石炭灰(廃棄物)の有効利用量(累計)

162.3万t超

* 2021年3月末時点
当社独自の「アッシュクリート技術」の適用



特許出願件数

59件

* 2020年度

※全て個別の数値